

C型肝炎治療薬「ハーボニー配合錠」の偽造医薬品について

昨日、標記に関して、当該製品の製造元であるギリアド・サイエンシズ株式会社より注意喚起の発表があり、これを受けて厚生労働省より医薬品の適正な流通の確保について通知が発せられております。

これら内容によれば、奈良県内の特定の薬局チェーンにおいて偽造医薬品が発見され、これまでの調査では、ギリアド・サイエンシズ株式会社の正規取引先以外から入手されたものとのことです。

また、一般紙等の報道では、容器は正規品であり、流通過程で中身がすり替えられていたとみられ、全国に出回っている可能性があるとしています。また、これまで発見された偽造医薬品は5本のボトルであり、うち1本が患者に交付されたが服用されていないとのことです。

我が国の医薬品の流通は適正な体制で行われており、海外で問題となっている偽造医薬品の流通事例は極めて少ないものであったと理解しています。

しかし、このような事例が発生したことにより、地域住民に安全で適正な医薬品を供給することを任務としている薬剤師・薬局としては、適正な流通を確保するようこれまで以上に努力していかねばならず、本会会員への周知及び指導に努めて参る所存です。

今回の事例の原因説明が早急に行われるとともに、回収等の対応がなされ、偽造医薬品の服用による健康被害の発生や病状の悪化がなされないよう強く願うものであります。

平成29年1月18日

日本薬剤師会

会長 山本 信夫